

開催日時：令和3年8月5日（木）13：30～

開催場所：日立市役所 研修室

出席委員数：10名中9名

- 1 開会
- 2 市長公室長あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 趣旨説明
- 5 会長・副会長の選出
- 6 議 事

(1) 第2期日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について（説明：事務局）

○会長： 第2期日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、日立市における地方創生・人口減少対策として重点的に取り組む施策の方向等をまとめたものであり、令和2年度から令和6年度までの5年間の計画として推進するものである。

この評価会議は、第2期総合戦略の評価を行う組織として、国からの通知に基づき、各分野の皆様で組織されたものであり、今回の会議は、計画の初年度にあたる令和2年度に実施した施策・事業の結果について、推進状況や効果を評価するものである。

また、国の交付金を活用した事業についても、同様に効果を検証することが求められている。

委員からの専門的、客観的視点で忌憚のない意見を述べていただきたい。

【質 疑】

(会長) 第2期総合戦略の計画初年度である令和2年度の事業・施策について評価した結果の説明であった。

質問、アイデアなどあれば述べていただきたい。

(委員) 昨年、第2子を日立総合病院で出産した、日立総合病院での医師、看護師の対応はとても手厚く、ここで出産して良かったなという思いを持った。

経験として紹介させてもらった。

(会長) 日本では子育ての環境、出産の環境を整備するのはなかなか厳しく、産婦人科医を確保することに苦労している市町村がある中で、委員からこのような意見をもらえるのは嬉しいことである。

(副会長) 日立駅情報交流プラザの売上について、弊社の得意先は電車で来て帰りに日立

駅情報交流プラザで干物を買うのが楽しみだと言っている。

私も利用したことがあるが、売上を伸ばそうという姿勢が見られないと感じた。
お客さんと呼べるような対応、体制の見直しが必要ではないか。

(事務局) 御意見を担当部に伝え、職員の対応や品揃えの点などの改善に努めていく。

(会長) お土産の充実は大事であると思う。

(委員) 基本目標3の子育て・出産の点について、社内の若い女性の間で評価が高い。
また、今年4月からの地域周産期医療センターの開始は話題となっている。
基本目標1の企業誘致に関して、茨城町で大きな企業を誘致したが、どの地域に
どういった誘致活動・PRを行っているのかを聞きたい。

(事務局) 実績としては、オフィス開設の4社のうち市内業者は2社、県外業者が2社である。

企業誘致活動としては、国内13,000社へのアンケート調査を実施し、その結果に基づいて市内外の企業訪問を実施し、PRを行っている。

(会長) 計画初年度ということもあり、評価対象外となった指標もあったが、評価対象指標については、おおむね順調であるとの結果であった。

特に、数値目標として評価した3つの指標では、改善が見えてきている。

人口増減には様々な要因があり、年度によって変動することも想定されるが、今後も引き続き着実な推進を要望する。

(2) 令和2年度地方創生関連交付金に係る事業の評価について（説明：事務局）

(会長) この議題については、まだ効果が測定できない科学館整備事業以外の4件の事業を評価することとなっている。

なお、茨城県が主体となって関係市町村との広域連携事業として進めている事業2件については、日立市の取組部分のみの評価となる。

(委員) 科学館の評価については来年度となることは承知しているが、KPIの設定はどうなっているか。

(事務局) 令和3年度の増分として、科学館の収入は43,987千円、ショップの売上額は19,991千円、周辺商店街等へのアウトリーチ事業回数は2回である。

(委員) 日立駅前活性化事業について、令和4年1月にイトーヨーカドーが閉鎖となる、これまでイトーヨーカドーで買い物ができるということで集客にプラスの要素があったが、ヨーカドー閉鎖によりそういった効果がなくなってしまう。

今後、広報やPRに努め、引き続き利用促進を図ってほしい。

(委員) つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクトでの商店街活性化コーディネ

ーターはどういった取組をしたのか。

(事務局) 日立駅前や多賀駅前の商店主を訪れて現状や課題等をヒアリングし、活性化案を提案するという取組を行った。日立市ではコーディネーターの意見をもとに施策に反映している。

(委員) 日立駅の商店街に空き店舗がある、若い起業家向けに家賃を安くするなどの取組は行っていないのか。

(事務局) 家賃について、市が介入するのは難しい。
まちなか空き店舗の補助制度により、空き店舗を活用して新規で開店する場合の補助を行っている。

(事務局) 資料4に「空き店舗、空き家活用による創業者数」という KPI (No.6) がある。
これは、駅から近い街なかの空き家で新しく起業する場合の補助金による実績である。
起業を望まれる方には活用してもらいたい。

(委員) シビックセンター科学館については、多額の事業費を投入している。
それによって、また、素晴らしい施設が日立に整備されたと認識している。
利用料収入の確保に向けた PR 活動は行っているのか。

(事務局) 事業名にあるとおり、まちの賑わい創出を目的に実施した事業である。
県外を含めて集客を図りたいと考えているが、新型コロナウイルス感染症対策として入場者を制限しているところである。
入場制限がなくなれば、戦略的な PR を行っていきたい。

(会長) かみね動物園、シビックセンター、科学館があるということで、県外からきていただければ、居住につながるということもあるので、PR を行ってもらいたい。

(委員) 資料を見て科学館を再整備したことや、日立武道館の存在を知った。
学生や若者はこういった情報を見る術がないのではと感じた。学生や若者に向けた情報発信があれば良いと思った。

(事務局) 日立市はPRが弱く、市長からもっと PR に力を入れるようにとされている。
学生、若者への PR 方法を検討したい。

(委員) 情報の伝達について、現在のところコミュニティが市報配布を担っている。
10月からは、市内の全戸に配布されるので、学生、若者に情報が届かないということは解消されると思う。

(委員) 学生、若者は YouTube などの SNS 関係が情報入手の手段となっている。
数をたくさん出すことが重要と思っている。FM ひたちや DJ の方との協力を得な

■ 令和3年度 第1回 日立市地域創生事業評価会議議事録

がら、施設紹介の動画を配信することで、目につく機会が多くなる。
SNSを有効に活用したPRを引き続き行ってもらいたい。

(会長) 評価については、地方創生に「有効であった」又は「有効と言えなかった」のいずれかを選択することとなっている。

資料からは、いずれとも地方創生に有効であったと伺えるが、いかがか。

(事務局) 欠席委員からは、評価対象事業について地方創生に有効であったとの意見をいただいている。

(会長) それでは、いずれの事業も「有効であった」と評価いただけたということでまとめさせていただきます。

5 閉会

以 上